

ごあいさつ

～ 一人ひとりの学び方を大切にできる学校に ～



岡山県立倉敷まきび支援学校のホームページにお越しくださり、ありがとうございます。

本校は平成 26 年に開校し、創立13年目を迎えます。西日本豪雨を地域の方々と共に乗り越えてきた学校です。これまで本校が積み上げてきた特別支援教育の専門性を大切に継承しながら、今年度も新たな歩みを進めてまいります。

現在、私達の周りでは、ICT(情報通信技術)が急速に普及しています。今後、AI(人工知能)の活用が進み、児童生徒の学習上の困難を補い、個々の能力や強みを最大限に引き出す「個別最適な学び」の実現が急速に進化していくでしょう。このような変化の激しい時代だからこそ、私達は子どもを中心とした「変わらない学び」も大切にしないといけないと考えています。

今年度は、A部門(知的障害部門)小学部131名、中学部58名、高等部162名、B部門(肢体不自由部門)小学部19名、中学部7名、高等部9名の計386名でのスタートになります。昨年度より16名増えました。教職員は218名です。

本校の子どもたちの育てたい姿については次のように考えています。

めざす児童生徒像

- ・夢をもち、挑戦し続ける児童生徒〈意欲〉
- ・すすんで挨拶ができる児童生徒〈人とかかわる力〉
- ・多様性を認め合い、地域社会の一員として、主体的に社会参加できる児童生徒〈自立と社会参加〉



子どもたちには、自分の好きなことや得意なことをたくさん見付けてほしいと思っています。好きなことをさらに増やし学び続けることで、自信と生き抜く力を付け、少し難しいことにも挑戦できるようになると思います。また、倉敷まきび支援学校にはいろいろな人がいます。自分との違いに気付き、理解し、認め合い高め合う仲間になってほしいと思います。

「夢」に向かって挑戦する子どもたちを、教職員も応援し、ともに挑戦していきたいと思っています。子どもたちとともに、元気で楽しく過ごし、チャレンジする1年にしていきます。

子どもたちの学校生活や学習の様子を本校ホームページや Facebook で発信しておりますので、ご覧いただければ幸いです。

本年度も、生徒にとって価値ある学校生活となるよう工夫と改善を重ね、教職員一丸となって教職員一同心を合わせて、校訓のとおり「夢へ みんなで まっすぐに」進んでいきます。

令和8年4月

岡山県立倉敷まきび支援学校

校長 金島 一顯